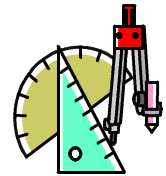




## 平成29年度 全国学力・学習状況調査を実施

4月18日(火)に、6年生を対象にした〈平成29年度全国学力・学習状況調査〉を実施しました。

- |      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 1時間目 | 準備 → 〈国語A(20分)〉 → 〈算数A(20分)〉 → 回収 |
| 2時間目 | 準備 → 〈国語B(40分)〉 → 回収              |
| 3時間目 | 準備 → 〈算数B(40分)〉 → 回収              |
| 4時間目 | 準備 → 〈児童質問紙(20～40分程度)〉 → 回収       |



- ◆ 〈A問題〉は、「基礎的な知識・技能が身に付いているかどうかみるための問題」で、各問題とも「できる、できない」「理解している、理解していない」がはっきりと分かるような問題です。
- ◆ 〈B問題〉は、「基礎的な知識・技能を活用することができるかどうかみるための問題で、いくつかの単元(学習内容)に跨るような総合的な問題」です。
- ◆ 〈質問紙調査〉は、家庭での生活習慣や生活態度、電子メディアへの関わり方、学習に対する意識や態度、家庭学習の時間、学校の授業に対する評価などについて、児童が92項目の質問に答える調査です。



【真剣に取り組む6年生】

この調査は、以下のことを目的として毎年4月に実施しています。

- 学校における児童への学習指導や生活指導の充実を図る。
- 授業や家庭学習などの課題を把握して、学習状況の改善に役立てる。
- 経年変化を分析するなど、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

全国学力・学習状況調査は、児童の学力の状況が分かるだけでなく、学力調査の結果と質問紙調査の結果をクロス集計することで、児童の学力と学習態度・生活態度との相関関係なども明らかになります。

4月19日(水)の新聞紙上に、今年度の全国学力・学習状況調査の問題と解答が掲載され、解説されていましたが、ご覧になっていただけでしょうか？

こういった問題に解答できる学力(基礎的な知識・技能とその活用力)が、今の日本の小中学生に求められている学力ということになります。

## 北小独自の取組 … 歯科健診で歯ブラシチェック・ブラッシング指導

4月19日(水)に、学校歯科医と歯科衛生士2名が来校して、歯科健診が行われました。

北小の歯科健診は、児童全員が毎日使っている歯ブラシを持参して健診を受け、順番を待っている間に、歯科衛生士が歯ブラシ(ブラシ部分が開いていないか、歯に対してブラシ部分が大きくないか、山切りカットの歯ブラシでないか)をチェックして、必要に応じて指導をしています。

また、学校歯科医の先生が、軽度の歯肉炎や歯垢、食べかすのある児童をチェックすると、歯科衛生士が健診後すぐに別室でブラッシング指導を行っています。

いずれの指導も、養護教諭と学校歯科医が連携した〈歯と口の健康のための“北小独自の取組”〉であることを、保護者の皆さんには承知していただきたいと思います。



【ブラッシング指導】



